



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議などの詳細
- 残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018出版のご案内
- 講師派遣のご案内
- 【予告】農薬科学研究奨励金のご案内
- 令和3年・4度日本農薬学会役員選挙について
- ニュースレター令和2年2月20日号記事「令和2年度日本農薬学会賞の決定」の訂正とお詫び

令和元年度 第4回常任評議員会議事録

日時：令和2年2月1日(土) 13:00～17:30

場所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：出席者 17名（含第45回大会実行委員長），欠席者なし

議事：

- I. 令和元年度第3回常任評議員会議事録の確認，メール審議議事録の確認
- II. 経過報告および議案
 1. 財務関係
 - ・令和元年度決算について報告があり，評議員会に付議することが承認された。
 - ・令和2年度予算案について報告があり，評議員会に付議することが承認された。
 - ・令和2年度学術小集会収支予算案（再審議）について承認された。
 2. 編集委員会
 - ・科研費への申請は難しいこと，英文校閲は継続して実施することについて報告があった。
 - ・JPS編集費の削減案の検討について報告があった。
 - ・JPSのオープンアクセス化について報告があった。

3. 学術・技術支援委員会

- ・「農薬を知ろう」Webサイト，「問答あれこれ改訂4版」，残留農薬分析セミナー資料の会員限定公開についてについて報告があった。
- ・クラウドの利用について提案があった。
- ・農薬科学研究奨励金2次審査が行われ，3件の採択を決定した。

4. 日本植物防疫協会

- ・業務委託についての3学会の事務に係る検討会について報告があった。

5. 三学会会長懇談会について報告があった。

6. 技術士育成推進委員会について報告があった。

7. 公益財団法人農学会についての報告があった。

8. 一般社団法人日本農学会

- ・日本農学賞の選考について報告があった。

9. 第45回大会関係

- ・評議員会，総会，懇親会，一般講演，シンポジウム，予算について報告があった。
- ・学生優秀発表賞の選考方法等について報告があった。
- ・第46回評議員会議事次第案について報告があった。
- ・評議員会進行スケジュール案について報告があった。
- ・第45回通常総会資料案について報告があった。
- ・総会進行スケジュール案について報告があった。

10. 入退会の報告

- ・47名の入会が承認された。

11. その他

- ・予算削減に向けた検討事項について提案があった。
- ・謝金内規，旅費内規の改定が承認された。
- ・1月開催のIUPAC主催国際会議について報告があった。

第46回編集委員会議事録

日時：令和2年3月3日(火)

場所：メール会議

議事：

- 1) 2019年度の学会誌刊行費が大幅アップした。その対策を検討し，JPSの冊子体は2020年を最後に廃止する

ことにした。Web版に関しては経費がかからないことから、カラーで提供することにした。

- 2) JPS冊子体を廃止した場合に、カラー料金が発生しないことから、Vol. 46, No. 1に掲載される論文からタイトルページを一新する予定。
- 3) 農薬学会誌に関しては、これまで通りに冊子体を配布する。一部の企画を除いて基本的に図表はモノクロにするが、著者が希望する場合は実費で申し受ける。Web版はカラーで提供することにした。

報告事項：

- 1) JPS Vol. 44 No. 1～4 (305ページ) を発行、日本農薬学会誌第44巻第2号、第45巻第1号を発行した。日本農薬学会誌にはIUPAC2019の報告を掲載した。
- 2) 令和元年度(2019年度) JPS論文賞として、Mamiko Shino et al., Action mechanism of bleaching herbicide cyclopyrimorate, a novel homogenisate solanesyltransferase inhibitor. Vol. 43, No. 4, pp. 233-239 (2018) を推薦した。
- 3) JPSの2018年IFが1.4を超えた。
- 4) JPSがオープンアクセス誌としてDirectory of Open Access Journals (DOAJ) に採択された。
- 5) DOAJへの申請に先立ち、Instructions for Authorsを修正した。
- 6) JPSへの投稿は93編あったが、52編が掲載否となった。
- 7) 2019年の論文ダウンロード数は月平均約8500(6100/2018年)であった。
- 8) JPS Vol. 45, No. 2に米山弘一氏、梅津憲治氏のReview articleを掲載予定である。

会 員 動 静

(令和元年12月1日～令和2年3月31日)

入会

正会員

高田 瑞貴	鈴木 竜也	福井 翔太	大下 純
足立 剛士	萩原 大祐	石丸 純一	手林 慎一
宮崎 翔	新藤美樹子	幸内 淳一	橋本 誠
藤平 欣孝	久保 佳蓮	木村 雅行	網井 秀樹
野倉 吉彦	長井 寛明	栢森 美如	宮本 秀範
田邊 貴將	山本 修平	田代 恵介	長谷部元宏
富永 純司	斉藤 隆起	加藤 貴央	鈴木 誉士
小川 拓水	勝間田 駿	幸堀 伸哉	原島小夜子
西松 哲義	田巻 初	榎本 賢	林 義貴
佐々木 崇	田場 聡		

学生会員

レホアン トゥ	辻 諄人	田口 泰輝
坂崎 柁寿	後藤 裕樹	松原 正幸
松尾 匠馬	笹部保乃佳	大畑 勇統
		原 なつき

藤田 里菜	高杉 航平	西村 純美	五井 達也
村田 和也	瀨本恵実里	小美濃達平	越智ゆかり
舛野 唱吾	平井 献士	佐野恵梨花	藤田 忠文
富谷 爽也	竹腰 沙紀	野村 洸司	

海外会員

SONCHIEU, Jean

(受付順)

退会

終身会員

奥 八郎 赤塚 尹巳

正会員

秋山 功	安藤 彰秀	池田 浩明	貫洞 康行
加藤 陽康	加藤 純	北折 和彦	永吉 秀光
起橋 雅浩	佐藤 純一	津幡 健治	脇森 裕夫
阿部 伸悦	柳瀬 勇次	穂坂 尚美	小松原憲一
土橋 智子	黒田 寛和	松崎 宏子	釜谷 拓和
庄司 俊彦	和久井康裕	後藤 裕子	畠山 誉史
山本 晴康	高田 瑞貴	五十嵐 一	堀江 正一
柳澤 和幸	野間 淳一	高井 綾子	桑原 尚俊
海老原 俊	堀尾 剛	池田 修	松川 哲也
三宅 敏郎	野澤俊太郎	大坪 敏朗	園田 正則
山田 英一	坂口 将進	二瓶真理子	浜坂 康貴
山田 祐司	蟻塚 果林	古谷 章悟	三輪 正昭
安河内英二	貴田 健一	山本 哲也	天野 裕太
藤巻 彰	藤本 修一	河原崎 海	神谷 峻介
山田 直子	奥村 泰子	井上 真依	鈴木 柁吾
DANDAN, Li	中田侑之介	阿部新太郎	西浦 愛子
佐飛真理子	細井 昂人	山口 友輔	高橋 宗之
堀内 愛実	松原 祐佳	室川 哲郎	白川 和泉
浅野 周	秋元 健太	堀田 里奈	池見 直起

学生会員

新名 清輝	梁 禹蒙	三又 一泰	青山 綾希
小松 頌子	飯塚 千晶	田窪 竜明	酒井 寿彦
中村 美月	浜田 梨沙		

団体会員

東都生活協同組合 安全・品質 管理部

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛、後援する会議等

2020年

9月

(開催中止) 15日(火)～18日(金) アジア植物病理学会

主 催：日本植物病理学会

会 場：つくば国際会議場 [〒305-0032 茨城県つくば市

竹園2-20-3]

U R L : <https://acpp2020.org>

24日(木) 第35回報農会シンポジウム

主 催：公益財団法人 報農会

会 場：北とびあ つつじホール [〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1]

U R L : <http://www.honokai.org>

10月

(開催延期) 15日(木)～16日(金) 第40回農薬製剤・施用法研究会

主 催：日本農薬学会，農薬製剤・施用法研究会

2020年10月15日(木)～16日(金)に予定しておりました第40回シンポジウムは，新型コロナウイルス(COVID-19)拡散の影響のため，2021年に延期することを決定しました。2021年開催の内容が決まりましたら，改めて掲載いたします。

U R L : <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai40.html>

29日(木)～30日(金) 第38回農薬環境科学研究会

主 催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会

会 場：アリストンホテル神戸 [〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/environment.html>

※COVID-19の影響で開催内容を変更する場合があります。

30日(金) 第35回農薬デザイン研究会

主 催：日本農薬学会，農薬デザイン研究会

会 場：メルパルク京都 [〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/design.html>

11月

5日(木)～6日(金) 第43回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会

会 場：ホテルグランヴェール岐山 [〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通6-14]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/residue.html>

※COVID-19の影響で開催内容を変更する場合があります。

20日(金) 第19回農薬バイオサイエンス研究会(植物化学研究会と共催)

主 催：植物化学研究会，日本農薬学会，農薬バイオサイエンス研究会

会 場：東京大学薬学部講堂 [〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/bioscience.html>

※COVID-19の影響で開催内容を変更する場合があります。

12月

4日(金) 第28回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主 催：日本農薬学会，農薬レギュラトリーサイエンス研究会

会 場：北とびあ つつじホール [〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/regulatory.html>

※開催内容は決まり次第，学会HP等でお知らせします。

学会主催会議などの詳細

第38回農薬環境科学研究会 開催案内

主 催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会

日 時：令和2年10月29日(木)～10月30日(金)

場 所：アリストンホテル神戸

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-1 (<https://www.ariston.jp/kobe/>)

テーマ：植物の農薬代謝

参加人数：約90名

参加費等(事前登録料金)：

1) 研究会参加費(宿泊，情報交換会費を含む)：正会員24,000円，非会員28,000円，学生12,000円

2) エクスカーション(先着30名)：3,000円(昼食代を含む)，灘五郷酒蔵めぐり等を予定

プログラム：基調講演(1日目)1題，特別講演(2日目)1題，一般講演5題，ポスター発表(1日目)10題，企業展示7社を予定

※本年度の各種お申し込み受け付けは，8月開始予定です。

COVID-19の影響で開催内容を変更する場合があります。

第43回農薬残留分析研究会 開催案内

主 催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会

日 時：令和2年11月5日(木)～11月6日(金)

場 所：ホテルグランヴェール岐山

〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地
<https://grandvert.com/access/>

参加費等(事前登録料金，当日参加費)：

研究会参加費：会員5,000円(当日7,000円)，非会員8,000円(当日10,000円)，学生2,000円(当日3,000円)

情報交換会：8,000円

エクスカーション(先着45名)：3,500円

プログラム：シンポジウム「農薬残留分析に係る最近の話題」
シンポジウムⅠ；農薬取締法ガイドライン改正に関連した話題

シンポジウムⅡ；精度管理に関する話題

特別講演「岐阜県の農業に関する話題(仮題)」

※本年度の各種お申し込み受け付けは，8月開始予定です。

COVID-19の影響で開催内容を変更する場合があります。

「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」出版のご案内

日本農薬学会では、精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q & A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています。2003年に初版を発行以来、好評を博して改訂を重ねてまいりましたが、この度、改訂4版を上梓する運びとなりましたのでお知らせします。改訂4版では、前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました。また、携行性を高めるために軽量化を図りました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです。定価は3,000円です（送料別）。

購入申込み方法：

メールまたはFAXにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号（FAX申込みの場合はFAX番号）、送付先住所、購入冊数等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書（送料を含む）を同封し発送しますので、振込みをお願いします。詳細は、学会ホームページもご参照ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内

FAX: 03-5980-0282

MAIL: nouyaku@pssj2.jp

学会HP: http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html

※平成30年の農薬取締法改正に伴い更新が必要となった記事を新旧対照表として取りまとめました。学会ホームページ上（http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html）で公開していますので、ご参照ください。

講師派遣のご案内

日本農薬学会では、一般市民や農業、教育関係の方々に農薬に関する知識や食料生産、食品安全、環境影響などに関する理解を深めていただくことを目的として、専門家を講師として派遣しています。派遣講師が行う講義の内容は、ご要望にできる限り沿うようにしたいと考えておりますので、遠慮なくご相談ください。本活動にご興味がありましたら、学会ホームページ（http://pssj2.jp/overview/semina/haken_16.html）をご参照のうえ、日本農薬学会事務局にご連絡ください。

【予告】農薬科学研究奨励金のご案内

日本農薬学会では、農薬科学研究の支援を目的として、特に競争的資金の獲得が難しい研究課題や研究者の方々にも利用して頂けるよう農薬科学研究奨励金の交付を行っています。今年度も令和3年度交付分の募集を9～11月に予定していますので、応募をお考えの皆様には是非前もってご準備下さい。詳細な応募要件等は、後日正式に決定次第、ご案内いたします。

過去の採択課題：http://pssj2.jp/inside/past_grant.html

令和3・4年度日本農薬学会役員選挙について

令和2年10月に令和3・4年度日本農薬学会役員選挙が実施される予定です。詳細につきましては、選挙管理委員会発足後に、メールまたは郵便にてご連絡致します。また、次号ニュースレター（8月20日発行予定）でもお知らせ致します。なお、本会規定により、本年5月31日の時点で今年度の会費を納入していない方には選挙権・被選挙権が認められませんので、会費を払われていない会員の皆様には会費納入を5月末までに済ませて下さいますようお願い致します。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内

電話番号03-5980-0281

ファックス番号03-5980-0282

E-mail: nouyaku@pssj2.jp

ニュースレター令和2年2月20日号記事
「令和2年度日本農薬学会賞の決定」の訂正とお詫び

ニュースレター令和2年2月20日号記事で、業績賞（技術）の記載に誤りがございました。

[誤]

- ・古谷 敬，菊武 和彦，長谷部 元宏，長井 寛明，織田 雅次：殺菌剤「ピラジフルミド」の開発（三井化学アグロ株式会社）

[正]

- ・古谷 敬，菊武 和彦，長谷部 元宏，長井 寛明，織田 雅次：殺菌剤「ピラジフルミド」の開発（日本農薬株式会社）

会社名という重大な誤りで、大変失礼いたしました。訂正するとともに、関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

学会賞受賞者選考委員会委員長 塩月孝博

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@pssj2.jp